

農村計画委員会「小委員会委員」公募

農村計画委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い
ふるってご応募ください。

■募集要領

下記(1)(2)を任意のA4判(ファイル名は名字のローマ字綴りとする)に明記のうえ、E-mailにてご提出
ください。なお、E-mailの件名は「〇〇〇小委員会委員応募」としてください。

- (1) 希望の小委員会名
- (2) 応募者について
 - ① 会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mailアドレス、専門分野
 - ② 現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無(有の場合は委員会名を記すこと)
 - ③ 希望委員会で果たせる役割
 - ④ 希望委員会に関連する業績

委員任期 承認日～2020年3月
設置期間 2018年4月～2022年3月
締切 2018年4月13日(金) 必着
採否 委員会で決定のうえ本人に通知します。
提出先 日本建築学会事務局事業グループ 伏見 E-mail : fushimi@ajj.or.jp

●ルーラルデザイン小委員会

主査／幹事 : 主査 大沼正寛(東北工業大学)
幹事 平田隆行(和歌山大学)・三笠友洋(西日本工業大学)

募集人数 : 2名

活動目的 : 農山漁村地域を主なフィールドとした建築設計や環境・地域デザインを「ルーラルデザイン」と定義し、その「地／図／時」に着目しながら、事例考察や将来像の討議、新たな建築環境デザイン論の導出・提示を行う。

●集落居住小委員会

主査／幹事 : 主査 佐久間康富(和歌山大学)
幹事 柴田 祐(熊本県立大学)

募集人数 : 1名

活動目的 : これまでと同様のテーマ「むらを住み継ぐカタチ」をもとに、住み継ぐ手法に着目した活動を行う。全国事例を収集し、その意義や手法を明らかにすることで、集落を維持・継承していく計画論の構築を目的とする。

●集落の包括再編モデル小委員会

主査／幹事 : 主査 佐藤栄治(宇都宮大学)
幹事 北澤大佑(地域環境資源センター)・山田あすか(東京電機大学)

募集人数 : 5名

活動目的 : 集落での生活を起点に、複数の集落をまたいだ教育、医療、福祉、ソーシャルハウジング、公共施設等の機能集約による地域マネジメントも含めた、総合的な居住福祉のための包括的システム・再編モデルを検討する。

●集落復興小委員会

主査／幹事 : 主査 鈴木孝男(事業創造大学院大学)
幹事 菊池義浩(兵庫県立大学)・友渕貴之(和歌山大学)

募集人数 : 5名

活動目的 : 大規模震災の被災集落・地域の復興に関する社会的なニーズに着目して、農村計画研究の立場から集落・地域が持続していくための復興計画論を、地元を含む多様な関係者と連携して導き出していく。

●農村地域構造分析・計画論小委員会

主査／幹事 : 主査 坂本淳二 (摂南大学)
幹事 杉田昌也 (MSC パートナース)

募集人数 : 5名

活動目的 : 農業集落・市町村単位の各種国土情報の地理空間分析により、農村地域の過去・現在・将来の構造特性と、特性に応じた計画制度と各地域における活動を重ね合わせ、農村地域構造改革の一環となる計画論を導き出す。